

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Will Go			
○保護者評価実施期間	2026年1月10日 ~ 2026年1月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29名	(回答者数)	17名
○従業者評価実施期間	2026年1月10日 ~ 2026年1月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	チーム一丸となった支援の振り返りと改善	毎日のミーティングでは、単なる伝達に留まらず「もっと良い関わり方はなかったか」を全員で対話しています。誰もが意見を出せる温かい空気感を大切にしています。	職員間で良い関わり方をみんなで分かち合い、チーム全体でステップアップしていけるよう努めます。

2	専門性を高める継続的な研修の実施	月1回以上の研修を年間通して継続しています。支援の基本だけでなく、目の前のお子様の特性に合わせた実践的な学びを深めています。	法定の必須研修に加え、今後は発達支援の最新トレンドや、現場のニーズに直結するテーマを積極的に取り入れていきます。
3	ご家庭に寄り添う柔軟な支援体制	送迎時間や急な利用希望など、各ご家庭の切実な事情に可能な限り寄り添った対応を心がけています。「困った時のWill Go」と思っただけの存在を目指しています。	保護者の皆様との対話を重ね、信頼関係をさらに深めることで、より細やかなレスパイトケア(休息支援)の提供に努めます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域社会とのつながりの拡大	事業所内での活動が中心となっており、地域の方々や他機関と日常的に交流する機会を十分に作れていない現状があります。	近隣の行事への参加や、地域資源(公園や施設)の積極活用など、スモールステップで地域に開かれた場所作りを目指します。
2	情報発信(SNS・ブログ)の周知不足	支援の様子を日々発信してはいるものの、保護者の皆様の目に留まる工夫や、内容の魅力付けがまだ不足していると感じています。	お子様の成長の瞬間や活動の楽しさが一目で伝わるような、写真とエピソードを中心とした「つい読みたくなる」構成に工夫していきます。

3	将来を見据えた職員体制のさらなる強化	お子様一人ひとりに、より手厚く専門的な支援を継続して提供していくためには、現在の職員配置に甘んじず、さらなる体制強化が必要だと思っています。	職員が心身ともに余裕を持って支援に当たれるよう、働きやすい環境整備を進め、新たな専門スタッフの確保や育成に注力します。
---	--------------------	--	---